

## シラバス

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	教員の実務経験
衛生法規	製菓製パン本科/1年	2024/前期	講義	有
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	丹羽 武廣

## 授業の概要

一般的な法律に関する基礎的な知識を「教科書及び問題集」で学習するとともに、グループで「プリント問題」を解き、食品関係業務に携わるものとして必要な「衛生法規の概要」を習得する。併せて、コンプライアンス（法令遵守）及びコーポレートガバナンス（企業統治）の理解を深める。

## 授業終了時の到達目標

製菓衛生師試験（衛生法規）の高得点取得を目指すとともに、製菓衛生師として特に知っておくべき3法「食品衛生法、製菓衛生師法、食品表示法」の詳細を習得する。さらに必要が生じたら該当法律の詳細を調べ理解できる力を養う。

回	テーマ	内容
1	法学大意 法学に関する基礎的事項	衛生法規と食品関連事件とコンプライアンス法と他の社会規範
2	法学大意 衛生行政概説 法学に関する基礎的事項 衛生行政に関する基礎的事項	法の種類（自主基準を含む） 法関係に関する疑問点の解決と重要事項の復習 衛生法規の意義・分類
3	衛生行政概説 衛生行政に関する基礎的事項	現状の衛生法規の概要 行政機構 国家、三権分立
4	衛生行政概説 衛生行政に関する基礎的事項	衛生と衛生行政 衛生行政機構
5	衛生行政概説 わが国の衛生行政機構	わが国の衛生行政機構 地方の衛生行政機構
6	衛生行政概説 衛生行政に関する基礎的事項	衛生行政に関する疑問点の解決と重要事項の復習
7	製菓衛生師法 製菓衛生師法の沿革	製菓衛生師法の沿革 製菓衛生師法の目的（第1条）
8	製菓衛生師法 製菓衛生師法の概要	製菓衛生師法の定義（第2条） 製菓衛生師試験
9	製菓衛生師法 製菓衛生師法の概要	製菓衛生師の免許と登録 製菓衛生師法（抄）
10	製菓衛生師法 製菓衛生師法の概要	製菓衛生師法施行令（抄） 製菓衛生師法規則（抄）
11	製菓衛生師法 関係法令 製菓衛生師法の概要 食品安全基本法の概要	製菓衛生法に関する疑問点の解決と重要事項の復習 食品安全基本法の目的、食品安全委員会 等
12	関係法令 食品衛生法の概要 前期試験（衛生法規）の解説等	食品衛生法の目的と最近の法改正を含む重要事項 等 衛生法規前期試験の正答と解説
13	関係法令 食品衛生法の概要 食品表示法の概要	食品衛生法の行政処分及び罰則 食品表示法の重要事項と他法律の表示規制 等
14	関係法令 衛生関係法令の概要	地域保健法 感染症予防法 健康増進法 等
15	関係法令 製菓衛生師問題集の解説 関係法令の復習	問題集の正答と解説 法規全般の疑問点の解決と重要事項の復習

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
製菓衛生師全書 製菓衛生師問題集 講師作成プリント	期末テスト 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%	

## シラバス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	教員の実務経験
公衆衛生学		製菓製パン本科/1年	2024年度	講義	有
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員	
90分	30回	2単位(60時間)	必須	岡本 晏季	
授業の概要					
公衆衛生の意義を理解する。 衛生統計の基礎知識、感染症の基礎知識、生活習慣病の基礎及び環境衛生について習得し、製菓衛生師として公衆衛生上の基本的な知識、見識を身に着ける。					
授業終了時の到達目標					
公衆衛生学に関する基礎知識を習得することを目標とする。					
回	テーマ	内 容			
1	【第1章 公衆衛生学の概要】 第1節公衆衛生の意義	1. 公衆衛生の定義 2. 公衆衛生の歴史			
2		2. 公衆衛生の歴史			
3	第2節公衆衛生の現状	1. 公衆衛生行政            2. 公衆衛生の制度 3. 保健所・保健センターの機能			
4	第3節衛生統計	1. 人口統計			
5		2. 疾病統計			
6	第1章まとめ				
7	【第2章 環境衛生】 第1節環境衛生の意義	1. 空気    2. 光    3. 水			
8	第2節環境と健康	1. 水道 2. 下水道			
9		3. 清掃及び廃棄物処理 4. そ族・衛生害虫などの駆除			
10		5. その他の生活衛生 6. 菓子製造施設の環境衛生			
11	第3節 公害	1. 大気汚染 2. 水質汚濁			
12		3. 騒音 4. その他の公害			
13	第2章まとめ				
14	【第3章 疾病予防】 第1節感染症(伝染病)の予防	1. 感染症と病原体			
15		2. 感染症が起こる三条件			
16		3. 感染症の予防対策			
17		4. わが国の感染症対策			
18	第2節生活習慣病の予防	1. 生活習慣病の予防 2. 循環器病			
19		3. がん			
20		4. その他の生活習慣病 5. 生活習慣病の予防と菓子成分			
21	第3章まとめ				
22	【第4章 産業保健】 第1節労働と健康	1. 作業環境と健康            2. 作業方法と健康 3. 職業性疾病			
23		4. 作業関連疾病 5. 労働災害			

回	テ ー マ	内 容		
24	第2節産業保健活動	1. 産業保健対策体制		
25		2. 安全衛生環境体制		
26		3. 健康保持推進対策とメンタルヘルス対策 4. 菓子製造施設における労働安全衛生		
27	第4章まとめ			
28	まとめ①	模擬授業準備		
29	まとめ②	模擬授業準備		
30	まとめ③	模擬授業		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
製菓衛生師全書 練習問題と解答		期末テスト 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%	

## シラバス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	教員の実務経験
食品学		製菓製パン本科/1年	2024/通年	講義	有
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員	
90分	30回	2単位(60時間)	必須	原田 千奈美	
授業の概要					
食品学全般の基礎知識を習得し、食品の科学的応用について認識を深める。					
授業終了時の到達目標					
食品に関する基礎知識の習得と簡単な栄養価計算の習得を目標とする。					
回	テーマ	内 容			
1	【第1章 食品の概要】 第1節 製菓と食品学	1. 食品の機能			
2	第2節 食品中の成分	1. 水			
3		2. 食品の一次機能 (1) たんぱく質			
4		(2) 炭水化物 (3) 脂質			
5		(4) ビタミン (5) ミネラル			
6		3. 食品の二次機能 (1) 色素成分 (2) 香気成分			
7		(3) 呈味成分			
8	第1章 まとめ				
9	【第2章 食品の種類と特性】 第1節 植物性食品	1. 穀類 2. イモ類およびでんぷん類			
10		3. 豆類 4. 種実類 5. 野菜類			
11		6. 果実類 7. キノコ類 8. 藻類			
12	第2節 動物性食品	1. 魚介類 2. 肉類			
13		3. 卵類 4. 乳類およびその加工品			
14		5. その他の加工食品			
15	第3節 機能性食品	1. 特別用途食品 2. 保健機能食品			

回	テ ー マ	内 容		
16	第2章 まとめ			
17	【第3章 食品の変質とその防止】 第1節 食品の変質	1. 食品の変質		
18		2. 食品の褐変		
19	第2節 食品の保存方法	1. 食品保存の目的 2. 食品貯蔵の方法		
20	第3章 まとめ			
21	【第4章 食品表示】 第1節 食品表示制度	1. 食品表示基準		
22		2. その他の表示		
23	第4章 まとめ			
24	【第5章 食品の生産と消費】 第1節 食品の消費構造の変化			
25	第2節 食品の生産と輸入	1. 国内生産と輸入 2. 主な食品の動向		
26		3. 食料自給量		
27	第5章 まとめ			
28	まとめ①	模擬授業準備		
29	まとめ②	模擬授業準備		
30	まとめ③	模擬授業		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
製菓衛生師全書 製菓衛生師問題集		期末テスト 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%	

## シラバス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	教員の実務経験
食品衛生学		製菓製パン本科/1年	2024/通年	講義	有
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員	
90分	60回	4単位(120時間)	必須	岡本 晏季	
授業の概要					
生命の維持、健康の保持・増進を図ることを目的としこれらを達成するにあたり予防的、効果的対応を確保するために衛生微生物、食中毒、消毒法、食品添加物、食品の保存方法等の必要な知識を学ぶ。					
授業終了時の到達目標					
衛生微生物、食中毒、消毒法、食品添加物、食品の保存方法等の必要な知識を習得する。					
回	テーマ	内容			
1	第1章 食品衛生学の概要 第1節 食品衛生の意義と現状	食品衛生の概念と定義			
2	第2章 食中毒 第1節 食中毒の発生状況	食中毒とは 食中毒の発生状況			
3		食中毒の分類・年次推移・季節変動			
4	第2節 食中毒の病因物質と予防対策	微生物による食中毒 細菌性食中毒(感染型・毒素型)			
5		(1) サルモネラ (2) 腸炎ビブリオ			
6		(3) 病原性大腸菌 (4) カンピロバクター (5) 黄色ブドウ球菌			
7		(6) ボツリヌス菌 (7) ウェルシュ菌			
8		(8) セレウス菌 その他の食中毒菌 ノロウイルス			
9		確認テスト 寄生虫による食中毒			
10		化学物質による食中毒			
11		自然毒による食中毒 (1) 動物性自然毒			
12		(2) 植物性自然毒			
13		食中毒の予防			
14	第3節 菓子と食中毒	菓子と食中毒			
15		《実習1》 菓子と食中毒について調べる			
16		第1章・第2章 確認テスト・まとめ			
17	第3章 食品添加物 第1節 食品添加物の種類と使用方法	食品添加物の定義と使用規制			
18		食品添加物の分類 食品添加物の使用基準			
19		主な食品添加物と使用基準 (1) 保存料 (2) 防カビ剤 (3) 殺菌料			
20		(4) 漂白剤 (5) 着色料 (6) 発色剤 (7) 甘味料			
21	第1章・第2章 総まとめ	前期試験に向けてまとめと学習			
22	第3章 食品添加物 第1節 食品添加物の種類と使用方法	(8) 調味料 (9) 酸味料			
23		(10) 栄養強化剤 (11) 香料			
24		(12) 乳化剤 (13) 結着剤 (14) その他			

25		既存添加物・天然香料・一般飲食物添加物 食品添加物の安全性の再検討
26		《実習2》市販食品に使用される添加物について調べる
27		第3章 確認テスト

28	第4章 食品中における有害物質 第1節 化学物質による環境汚染と生物濃縮	生物濃縮と食物連鎖 重金属
29		放射性物質 有機塩素系農薬
30		PCB ダイオキシン
31	第2節 農薬・動物用医薬品および飼料 添加物の食品中の残留	確認テスト 残留農薬 残留動物用医薬品
32		残留飼料添加物
33	第3節 食品中の異物	動物性異物 植物性異物 鉱物性異物
34		第4章 確認テスト
35	第5章 衛生管理 第1節 食品の取り扱い	食品取り扱いの三原則 食品取り扱い者の衛生
36		洗浄と消毒 洗浄と洗剤
37		食品取扱者の衛生管理点検
38		《実習3》食品取扱者の衛生 食品取扱者の衛生管理点検
39		《実習4》食品取扱者の衛生 洗浄と消毒（食品）①
40		《実習5》食品取扱者の衛生 洗浄と消毒（食品）②
41		《実習6》食品取扱者の衛生 洗浄と消毒（手指・器具）①
42	第2節 施設・設備の要件と管理	施設の構造 食品取り扱い設備
43		食品の取り扱い
44		給水及び汚物の処理
45		《実習7》食品の取り扱い
46		《実習8》給水及び汚物の処理
47		菓子製造業の施設基準
48		確認テスト まとめ
49	第3節 食品衛生法で定められた営業者の責務	公衆衛生上必要な措置の基準
50		《実習9》食品取扱設備の管理
51	第4節 HACCPによる衛生管理	HACCPとは 菓子製造におけるHACCP
52		《実習10》菓子製造におけるHACCPプラン①
53		《実習11》菓子製造におけるHACCPプラン②
54		《実習12》品質管理のための官能評価
55	第5節 食品の保存と表示	製品の保存 表示事項
56		添加物の表示 菓子の保存と表示
57		アレルギー対策と表示
58		第5章 確認テスト

59	第3章～第5章 総まとめ	第3章～第5章 まとめ		
60	食品衛生学 総まとめ	第1章～第5章 まとめ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
製菓衛生師全書 配布プリント 製菓衛生師問題集		期末テスト 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%	

## シラバス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	教員の実務経験
栄養学		製菓製パン本科/1年	2024/通年	講義	有
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員	
90分	30回	2単位(60時間)	必須	原田 千奈美	
授業の概要					
栄養の基礎的知識の学習と、食品と栄養の関りについてライフステージを通して学習する。					
授業終了時の到達目標					
栄養の基礎知識の習得と、人体における栄養の仕組みの習得。また、食品表示について栄養学的観点から理解をする。					
回	テーマ	内容			
1	栄養の概要	1. 栄養学とは 2. 人体成分			
2	栄養素の種類と働き	第1節 たんぱく質 1. たんぱく質の種類      2. アミノ酸の種類			
3		第2節 脂質 1. 脂質の分類			
4		第3節 炭水化物 1. 炭水化物の分類			
5		第4節 ビタミン 1. 脂溶性ビタミン      2. 水溶性ビタミン			
6		第5節 ミネラル 1. ミネラルの種類			
7		第5節 ミネラル 1. ミネラルの種類			
8		第6節 水分			
9	第3章 消化と吸収	第1節 消化器の構造と機能 第2節 消化管内での消化 1. 口腔内での消化    2. 咽頭および食道 3. 胃内での消化			
10		4. 小腸内での消化    5. 大腸内での消化			
11		第3節 栄養素の消化と吸収 1. たんぱく質    2. 脂質    3. 糖質			
12		4. ビタミンとミネラル・水    5. アルコール 第4節 消化吸収率			
13	第4章 食生活と疾病	第1節 国民健康・栄養調査			
14		第2節 食欲と身体機能の調節 1. 摂食行動			

15		2. ホルモンとその機能		
16		第3節 栄養素の生理作用 1. たんぱく質		
17		1. たんぱく質		
18		2. 脂質		
19		2. 脂質		
20		第4節 肥満と生活習慣 1. 肥満 2. 糖尿病		
21		3. 高血圧症 4. 脂質異常症 5. 痛風 6. 骨粗鬆症 7. 鉄欠乏性貧血		
22	第5章 栄養学の実践	第1節 日本人の食事摂取基準 1. 対象と目的 2. 食事摂取基準の指標		
23		第2節 エネルギー代謝 1. エネルギー摂取量とエネルギー消費量 2. 基礎代謝量 3. メッツ 4. 身体活動レベル		
24		第3節 栄養管理 1. たんぱく質の適正摂取 2. 脂質の適正摂取 3. 炭水化物の適正摂取		
25		4. ライフステージ別のポイント		
26		4. ライフステージ別のポイント		
27		第4節 食事バランスガイド		
28		第5節 食品分類法 1. 三色食品群 2. 四つの食品群 3. 六つの基礎食品群		
29		第6節 栄養素の表示 1. 食品表示基準制度		
30		2. 食品の分類		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
製菓衛生師全書上巻 問題集		期末テスト 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%	

## シラバス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	教員の実務経験
社会		製菓製パン本科/1年	2024/前期	講義	有
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員	
90分	15回	1単位(30時間)	必須	芦田 絵津子	
授業の概要					
第1章 菓子と食生活(歴史)と第2章 菓子店経営論を進めながら、随時、現代社会の時事問題なども取り上げていく。					
授業終了時の到達目標					
菓子やパンの歴史の流れをつかみ、経営論では開店に向けてのビジネス・プランの企画開発が計画出来るようになる。					
回	テーマ	内容			
1	菓子と食生活 [第1章] 菓子と食生活	菓子の食生活における意義			
2	菓子と食生活 菓子の歴史	上古時代から国際化時代まで			
3	菓子と食生活 菓子の歴史	世界・日本のパンの歴史			
4	菓子と食生活 菓子の生産と消費	商業統計・家計調査報告書			
5	菓子と食生活 菓子の生産と消費	過大・過剰包装の問題点 容器リサイクル法について			
6	菓子店経営論 [第2章] 経営論の概要	経営理念の構築と実践			
7	菓子店経営論 経営論の概要	立地条件および市場調査			
8	菓子店経営論 経営論の概要	販売促進のあり方			
9	菓子店経営論 経営論の概要	店舗の作り方・開業資金			
10	菓子店経営論 労働生産性	労働生産性を高めるために			
11	菓子店経営論 労働生産性	必要売上高の求め方			
12	菓子店経営論 労働生産性	原価管理の方法			
13	菓子店経営論 労務管理	自主性を大切にする職場から人材は育つ			
14	菓子店経営論 労務管理	接客サービスと店員教育			
15	菓子店経営論 労務管理	労働時間等			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他	
製菓衛生師全書 製菓衛生師問題集		期末テスト 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%		

## シラバス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	教員の実務経験
製菓理論		製菓製パン本科/1年	2024/通年	講義	有
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員	
90分	45回	3単位(90時間)	必須	山口 真知子	

## 授業の概要

製菓の素材の特性を学び、安定した製品を製作する  
製造工程で起こる科学的な現象を利用特性から学ぶ

## 授業終了時の到達目標

国家試験合格に向けて、素材の特性、加工適性を学ぶ

回	テーマ	内容
1	製菓理論学とは？	自己紹介 甘味料の原料と種類
2	甘味料	特徴、含蜜糖と分蜜糖
3	甘味料	糖類の分類、砂糖の特性
4	甘味料	でんぷん糖の種類と特性
5	甘味料	水あめ、その他の糖類
6	甘味料	非糖質甘味料、甘味料小テスト
7	小麦粉	用途別・品位別分類、加工適性
8	でんぷん	種類と特徴、糊化と老化
9	でんぷん	膨化、吸湿性、その他の特性
10	小麦粉・でんぷん	小麦粉・でんぷん小テスト
11	鶏卵	名称、鮮度の見わけ方
12	鶏卵	卵白起泡性、卵黄乳化性
13	鶏卵	鶏卵小テスト
14	油脂	種類
15	油脂	加工適性、特性
16	油脂	油脂小テスト
17	前期復習	前期復習プリント
18	前期復習	前期復習プリント
19	前期復習	前期復習プリント
20	テスト対策	テスト対策プリント
21	テスト対策	テスト対策プリント

22	自習	テスト勉強
23	テスト返し	解答・解説、お店紹介
24	牛乳・乳製品	主要成分、乳製品の種類
25	牛乳・乳製品	牛乳の栄養と特性
26	牛乳・乳製品	牛乳・乳製品小テスト
27	チョコレート	原料、種類
28	チョコレート	テンパリングの方法、ブルームの原因
29	チョコレート	チョコレート小テスト
30	果実及び果実加工品	果実の種類、果実加工品の種類
31	凝固材料	寒天、ゼラチンの特性
32	凝固材料	カラギーナン、ペクチンの特性
33	凝固材料	凝固材料小テスト
34	種実類	種実類の種類と特徴
35	酒類	酒類の分類と特徴
36	香辛料・香料	香辛料、香料の種類と特徴
37	パン酵母	パンの酵母の種類、作用、性質
38	パン酵母	酵素の働き、製パン工程
39	パン酵母	副資材の種類と製法
40	膨張剤	膨張剤の種類と特性
41	乳化剤	乳化剤の種類と特性、膨張剤小テスト
42	着色料・増粘安定剤	着色料、増粘安定剤の種類
43	テスト対策	テスト対策プリント
44	テスト対策	テスト対策プリント、自習
45	テスト返し	解答・解説

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
製菓衛生師全書	期末テスト	80.0%	
製菓衛生師問題集	出席率	10.0%	
	授業態度	10.0%	

## シラバス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	教員の実務経験
製菓実習（製パン）		製菓製パン本科/1年	2024/通年	実習	有
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員	
90分×4	22/60回	16単位（480時間）	必須	茅野良重 他	
授業の概要					
製パンの基礎知識を修得する。 製法・歴史を知り、製パンについて深く学ぶ。					
授業終了時の到達目標					
ミキシングの製法の理解。 分割・丸め・伸ばしを理解し修得している。					
回	テーマ	内容			
1	菓子生地の仕込み方	菓子生地での計算、計量、仕込み、分割、丸め、焼成までを一通り学習			
2	分割、丸め、成形（丸）①	菓子生地（成形は丸）1人12個			
3	分割、丸め、成形（丸）②	バターロール（手仕込み）、ゴマパン			
4	成形（伸ばし）①	アインバック、ツOPP、グリッシーニ			
5	成形（伸ばし）②	グリッシーニ、フランクフルト（塩生地）			
6	製パン製法①、成形（丸）の復習①	菓子生地（直捏法、中種法）の丸（中間テスト）			
7	成形（丸）の復習②	菓子生地の丸			
8	包餡の仕方①	あんぱん（こし餡、粒餡）			
9	なまこ型成形の仕方 包餡の仕方②	あんぱん（粒餡）、パン・オ・レ			
10	麺棒の使い方①	角食、ハムコーン、フランクフルト（塩生地）			
11	成形（丸）の復習③	イギリス食パン、レーズンブレッド			
12	菓子パン類のバリエーション	あんぱん、クリームパン、メロンパン			
13	ハード系①	クッペ、エピ、シャンピニヨン（ディレクト法、パート・フェルエンテ法）			
14	ハード系②	バターロール（パート・フェルメンテ法、ディレクト法）			
15	麺棒の使い方②	フォカッチャ、グリッシーニ、フーガス？ピッツァ？			
16	主材料の理解	イギリス食パン（塩：2%、4%、0%）			

17	ヴィエノワズリー①	ブリオッシュ・ア・テット、ラングドブッフ、コルネ		
18	副資材の入った製品	グラハムブレッド、パン・オ・ノア		
19	特殊なパン① 伸ばしの復習①	ベーグル、グリッシーニ		
20	伸ばしの復習②	グリッシーニ		
21	ヴィエノワズリー②	パート・ルヴェ・フィユテ（クロアソン、パン・オ・ショコラ）		
22	ハード系③ 包餡の復習	パン・オ・セーグル、パン・ド・カンパーニュ、あんぱん		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価	80.0%	基礎実習：1～7 応用実習：8～22
		出席率	10.0%	
		授業態度	10.0%	
※最終的な成績は科目毎に評価される				

8(1)

## シラバス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	教員の実務経験
製菓実習（洋菓子）		製菓製パン本科 / 1年	2024 / 通年	実習	有
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員	
90分×4	23/60回	16単位（480時間）	必須	安井大也、吹原輝行、山下千賀子 他	
授業の概要					
洋菓子の基礎知識を修得する。 製法・歴史を知り、洋菓子について深く学ぶ。					
授業終了時の到達目標					
スポンジ生地の製法の修得。 ナッペ、ポッシェ、カットを理解し修得する。					
回	テーマ	内容			
1	実習オリエンテーション 共立て生地①	器具の名前、使い方、ジェノワーズ			
2	共立て生地② ナッペ① ポッシェ①	ジェノワーズ、ナッペ、ポッシェ(ローズ、シェル)			
3	別立て生地① シュー生地	ビスキュイ・ア・ラ・キュイエール、シュー			
4	共立て生地③ クッキー生地① バター生地①	ロールケーキ(共立て)、カトルカール、チェッカー(伸ばしまで)			
5	クッキー生地②(アイスボックス、絞りクッキー)	アイスボックスクッキー(チェッカー、サブレココ)・チョコポッシェ			
6	マジパン①	色つけ、動物1体(ライオン)、バラ			
7	別立て生地②	ロールケーキ(別立て)、ダコワーズ			
8	共立て生地④ ナッペ② ポッシェ②	ジェノワーズ(失敗例)デモのみ、ジェノワーズ、デコレーションケーキ			
9	バター生地②	フィナンシェ、マドレーヌ、ケーキショコラ			
10	クッキー生地③ タルト	シュクレ、タルトフリユイ、アイシング			
11	別立て生地③	シフォンケーキ、バトンマレショー、クリコン考案			
12	マジパン② パイピング①	人形1体、パイピング、土台カバーリング(デモのみ)			
13	ムース① 冷菓	ババロワ、アンベルセ、グレープフルーツジュレ			
14	クリスマスケーキ①	試作①			
15	バター生地③ 飴細工	ウィークエンドシロン、飴細工			
16	クッキー生地④(絞り)	メレンゲクッキー、フォレノワール、イチゴジャムクッキー			
17	ムース②(ピューレ)	ベリームース、バタークリーム(バラ絞り)			
18	ムース③(チョコ)	抹茶ムース、ミルクチョコムース、チョコ飾り			
19	クリスマスケーキ②	試作②			
20	クリスマスケーキ③ マジパン③	ブッシュドノエル、ガトーショコラ、マジパン(サンタ)			

21	クリスマスケーキ④	試作③
22	折り込みパイ生地	パルミエ、(パピヨン)、試験課題説明(ジェノワーズ、デコレーション)
23	クリームチーズの扱い	チーズムース、半熟チーズ

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	実習・実技評価	80.0%	基礎実習：1～6. 9. 10 応用実習：7. 8. 11～23
	出席率	10.0%	
	授業態度	10.0%	
	※最終的な成績は科目毎に評価される		

## シラバス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	教員の実務経験
製菓実習（和菓子）		製菓製パン本科/1年	2024/通年	実習	有
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員	
90分×4	15/60回	16単位（480時間）	必須	矢濱竜淑、伊藤高史 他	
授業の概要					
和菓子の基礎知識を修得する。 製法・歴史を知り、和菓子について深く学ぶ。					
授業終了時の到達目標					
製餡の基礎知識・製法を修得している。 包餡の手の動きを理解し、丸く包めるようになっている。					
回	テーマ	内容			
1	製餡 細工①	こし餡 練り切り			
2	饅頭①	上用饅頭 小麦饅頭 カステラ饅頭			
3	素材について①(わらび・葛)	葛饅頭 わらび餅 水饅頭			
4	餅生地①	桜餅 柏餅			
5	黄身餡①	桃山 きみしぐれ 上用饅頭			
6	細工②	練り切り			
7	ゲル化①	羊羹 水羊羹 紫陽花			
8	ゲル化②	金魚 蒸し羊羹			
9	粒あんの製法①	粒餡 おはぎ 薄皮饅頭 きんとん			
10	素材について②(芋・栗)	鬼まんじゅう 栗きんとん 赤飯			
11	平鍋①	どら焼き 味噌まんじゅう			
12	甘味	みたらし団子 白玉ぜんざい 葛きり(デモのみ)			
13	平鍋②	若鮎 上用饅頭(焼木の芽印)			
14	饅頭②	かき餅 麩まんじゅう			
15	餅生地②	大福 羽二重餅			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他	
		実習・実技評価	80.0%	基礎実習：1～5	
		出席率	10.0%	応用実習：6～15	
		授業態度	10.0%		
※最終的な成績は科目毎に評価される					

## シラバス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	教員の実務経験
スキルアップ実習 (ラッピング)		製菓製パン本科/1年	2024/通年	実習	有
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員	
90分×2	12/30回	3単位(90時間)	必須	高木安由美・吹原輝行	
授業の概要					
商業ラッピングの知識と基本的な包み方を習得する。					
授業終了時の到達目標					
商業ラッピングの知識を有し、慶弔贈答の基本的な包装ができる。					
回	テーマ	内容			
1	合わせ包み ラッピングの基本パターン	・合わせ包み(基本、正方形、薄い箱)			
2	前回の復習 斜め包み	・合わせ包み復習(3種類) ・リボン(蝶結び、横一文字、十字がけ、斜めがけ) ・斜め包み(処理なし)			
3	しきたりの基礎知識	・斜め包み(処理あり) ・贈る文化、しきたりの基礎知識 ・リボン(斜めがけ)			
4	復習 (合わせ包み、斜め包み、のし紙)	・のし紙復習 ・時間を計測して練習 ~テーブルごとにチェック~			
5	一人ずつ確認	・時間を計測して練習 ~一人ずつチェック~			
6	ラッピング理論	・ラッピング理論 ・裏表のあるリボン ・ビン包み、シールリボン			
7	包み、リボン復習	・合わせ包みアレンジ(タック) ・ダブルリボン ・時間を計測して練習			
8	反復練習	・時間を計測して練習 ・苦手な所を練習			
9	紙袋アレンジ	・時間を計測して練習 ・紙袋アレンジ			
10	反復練習	・時間を計測して練習 ・苦手な所を練習			
11	実技模擬試験	・模擬試験~細かく確認~			
12	試験対策	・試験についての説明 ・時間を計測して練習			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他	
ラッピング検定教本		期末テスト 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%		

9(3)

## シラバス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	教員の実務経験
スキルアップ実習 (キャリアプランニング)		製菓製パン本科/1年	2024/通年	講義 実習	無
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員	
90分×2	6/30回	3単位(90時間)	必須	吹原 輝行	
授業の概要					
現在の自分を認識し、さらに将来の自分を描き求めていく。 就職活動を通して自分自身を確立し、社会へ踏み出す力を養う。 面接練習では、マナーと知識の集大成としてトレーニングする。					
授業終了時の到達目標					
1. 就職活動準備を通して、社会人としての振舞いやビジネスマナーを習得する。 2. グループワークを通して、コミュニケーション基礎力を身につける。 3. 集団面接など公の場で臆することなく自己表現ができる。					
回	テーマ	内容			
1	ガイダンス 就職活動を知る 自己分析①	キャリアプランニングの流れ 就職活動に必要な知識の整理 就職活動をするにあたってこれまでを振り返る			
2	社会の基礎知識 自己分析②	働く時の知識・雇用形態別の特徴など 就職活動を始めるにあたって、自己分析をすることで自分の強みを知る。			
3	仕事と電話のマナー 業種別の特徴 メール・Web上のマナー	社会人としての心構え、職場での基本的ビジネスマナー 電話のかけ方・受け方や話の聞き方・受け方について 業種別特徴の理解と今後について考える ビジネスメールの基本			
4	履歴書の書き方 面接試験概要①	履歴書等応募書類の整え方 面接試験の実際を知り、模擬面接の準備をする			
5	面接試験概要② 社会人として 添え状などの書き方	模擬面接 入退室のマナーや面接時の基本の答え方など 社会人としての心構え 内定お礼状の書き方			
6	一般常識について	一般常識の練習問題 リクナビ・マイナビについて 全体のまとめ 確認テスト			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他	
		期末テスト 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%		

## シラバス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	教員の実務経験
スキルアップ実習 (反復実習)		製菓製パン本科/1年	2024/通年	実習	有
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員	
90分×2	12/30回	3単位(90時間)	必須	矢濱竜淑・安井大也・吹原輝行	
授業の概要					
洋菓子・和菓子・製パンの基礎技術と製造知識を復習し理解する。					
授業終了時の到達目標					
スポンジ生地の製法、クリーム扱いと塗り方を理解する。 製餡の基礎知識・製法、包餡の手の動きを理解する。 ミキシングの製法、分割・丸め・伸ばしを理解する。基本的な製造知識を確実に習得する。					
回	テーマ	内容			
1	ジェノワーズ 5号2台分2人で1set 粉合わせからは1人1set	手順の確認 器具・機材の使い方の習得			
2	ジェノワーズ 手立て 1人1set	生地を立て方の理解			
3	上用饅頭	包餡を理解			
4	ジェノワーズショコラ 抹茶ジェノワーズ	粉類の合わせ方の理解			
5	ジェノワーズ ポッシュ練習	手の動かし方を理解 絞り方の確認			
6	デコレーションケーキ ナッペ、ポッシュ、カット	パレットナイフの使い方を理解 カットの手の動かし方を理解			
7	菓子生地の分割丸め～焼成 伸ばし(練習生地)	分割～焼成(2次発酵と焼成見極め)の習得 伸ばし方の確認			
8	グリッシーニ 1人10本	包餡の仕方を理解			
9	シュー(皮のみ) 2人で1set	シュー生地の見極めの習得			
10	羽二重餅	餅生地の包餡の理解			
11	包丁研ぎ カルチェ	包丁の研ぎ方を理解 カルチェの復習			
12	あんぱん(包餡) 1人6個	包餡の仕方を理解			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他	
		期末テスト 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%		

## シラバス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	教員の実務経歴
応用製菓実習 (製パン)		製菓製パン本科/2年	2024/通年	実習	有
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員	
90分×4 (一部90分×3)	19/69回	16単位(480時間)	必須	茅野良重 他	
授業の概要					
1年次の技術をもとに応用の菓子・パンを作り更なる技術向上を目指す。 すべての分野に幅広く対応できる職人となるように授業を行う。 製菓3分野と軽食調理を行い、幅広いニーズに対応できる人材育成を行う。					
授業終了時の到達目標					
技術修得目標に沿って、卒業時に修得完了を目指す。					
回	テーマ	内容			
1	包餡の習得①、ハード系製品の扱い方①	あんぱん ハードロール 塩パン			
2	食パンについて、基礎技術の習得	食パン2種 調理パン			
3	ハード系製品の扱い方②、包餡の習得②	パン・リュスティック2種 調理パン			
4 (90分×3)	ハード系製品の扱い方③	コロンバイザー ナスブロード ハンドカイザー スイートロール			
5	包餡の習得②	チョコチップロール あんぱん クリームパン			
6	材料の特性①	パン・ド・ミ 菓子パン(あんぱん・コッペパン・バターロール)			
7	各製法の理解①	ポーリッシュ法によるフランスパン ツOPP			
8	フィユテの理解と習得	クロワッサンアンヴェルセ パンオレ			
9	包餡の習得④、ハード系製品の扱い方④	あんぱん ヴァイツェンミッシュブロード ベルリーナラントブロード			
10	基礎成形の復習(丸め・伸ばし)	メロンパン フランクフルト その他バリエーション			
11	季節商品について	クグロフ パネトーネ グリッシーニ			
12	包餡の習得⑤	チョコチップロール あんぱん クリームパン			
13	ハード系製品の扱い方⑤	バゲット クリーチャー チキントマト煮込みカレー風味			
14	同一生地を活用①	食パン コッペパン クリームパン			
15	ハード系・食パン生地の復習①	トーストブレッド あんぱん バゲット フロマージュトマト			
16	ハード系製品の扱い方⑥	ディレクト ブロック冷蔵 生地玉冷凍 焼成後冷凍			
17	同一生地を活用②	フランス生地のバリエーション			
18	ハード系製品の扱い方⑦	セーグルさつまいも ハイカカオブレッド パンオルヴァン			
19	ハード系製品の復習②、基礎成形の復習(包餡)	あんぱん マカパティ 全粒粉ブレッド			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他	
		実習・実技評価 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%		
		※最終的な成績は科目毎に評価される			

## シラバス

科目名 応用製菓実習 (調理)		学科/学年 製菓製パン本科/2年	年度/時期 2024/通年	授業形態 実習	教員の実務経験 有
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員	
90分×4	7/69回	16単位(480時間)	必須	木下光	

## 授業の概要

1年次の技術をもとに応用の菓子・パンを作り更なる技術向上を目指す。  
すべての分野に幅広く対応できる職人となるように授業を行う。  
製菓3分野と軽食調理を行い、幅広いニーズに対応できる人材育成を行う。

## 授業終了時の到達目標

技術修得目標に沿って、卒業時に修得完了を目指す。

回	テーマ	内容
1	挽肉を使った料理① パスタの茹で方、サラダ① ポタージュの作り方①	スパゲッティ・ミートソース イタリアンサラダ 南瓜のポタージュ
2	炒め飯の作り方 サラダ② ポタージュの作り方②	オムライス マカロニサラダ 野菜のポタージュ、カレー風味
3	揚げ物の揚げ方① 野菜の煮物① 酢の物 味噌汁	鶏もも肉の竜田揚げ 南瓜の甘煮 海老とわかめの黄身酢和え
4	挽肉を使った料理② サラダ③ スープスペシャル①	ハンバーグステーキ マセドワーヌサラダ クラムチャウダー
5	中華のご飯物 揚げ物② 茶碗蒸しの作り方	天津飯 春巻き 中華風茶碗蒸し
6	ベシャメルの作り方 サラダ④ スープスペシャル②	シーフードドリア グリーンサラダ ミネストローネ
7	ニョッキの作り方 野菜のトマト煮 貝の蒸し物	トマトとモッツァレラチーズのニョッキ カボナータ(ラタトゥイユ) アサリのワイン蒸し

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	実習・実技評価	80.0%	
	出席率	10.0%	
	授業態度	10.0%	
※最終的な成績は科目毎に評価される			

## シラバス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	教員の実務経験
応用製菓実習 (洋菓子)		製菓製パン本科/2年	2024/通年	実習	有
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員	
90分×4 (一部90分×3)	32/69回	16単位(480時間)	必須	安井大也、吹原輝行 他	
授業の概要					
1年次の技術をもとに応用の菓子・パンを作り更なる技術向上を目指す。 すべての分野に幅広く対応できる職人となるように授業を行う。 製菓3分野と軽食調理を行い、幅広いニーズに対応できる人材育成を行う。					
授業終了時の到達目標					
技術修得目標に沿って、卒業時に修得完了を目指す。					
回	テーマ	内容			
1	シュー生地	シュークリーム パリブレスト			
2	デコレーションケーキ応用	デコレーションケーキ アナナスとライチのベリーヌ アーモンドパウンド 杏仁			
3	バタークリーム仕上げ プリン応用	バターケーキ チーズプリン ハチミチュイール			
4	ムース応用 デコレーションケーキ応用	サマーオレンジ デリスシトロン			
5	伝統菓子	アンジュ ガトーバスク サブレブルトン			
6	ムース応用	ムラングカシス アイリス			
7	皿盛りデザート カービング	カービング フリュイヴォワレマンゴーエドラゴン			
8	フルーツの加工 ムース応用	アナナスゼリー オレンジゼリー ティラミス			
9	カップデザート ロールの復習	キャラメルとブランのショコラヴェリーヌ ラングドシャクッキー しょうゆロールケーキ			
10	メレンゲ応用	マカロンカフェショコラ ダクワーズショコラフランボワーズ			
11 (90分×3)	スペシャリテ	ココアナナ ケークキャラメル ケークレギューム			
12	ムース応用 (リキュール)	パッシィオーネ レモンゼリー			
13	パイ生地応用	ミルフィーユ マロンパイ 絞りクッキー			
14	チョコレート応用	ザッハトルテ ハイジチョコ ヴァイスボーン			
15	タルト応用	タルトカフェ タルト柚子			
16	発酵菓子	フロマジュリ イチジクのコンポートサンタリアのサバラン			
17	スペシャリテ 飴細工	ガトーヴェルジョワーズ アメ細工			
18	ムース応用 タルト応用	レ克蘭 タルトヴァレ サブレフロマージュ			
19 (90分×3)	スペシャリテ	シシリー タルトヴァレンシア			
20	フルーツの加工 皿盛りデザート	Evolution(エヴォリューション) デザートガスパチョ			
21	デコレーションケーキ応用	フルーツデコレーション キャラメルマロン			
22	チョコレート応用	トリュフオレンジ マロン			
23	ムース応用 デコレーションケーキ応用	フルーツショートケーキ ムラングモカ ケークサレ			
24 (90分×3)	飴細工	飴細工(基礎・作品)			
25	皿盛りデザート	タルトタタン ムースショコラパンデピス			
26	氷彫刻	氷細工(デモのみ) テリーヌショコラ フィナンシェ ブラウニー			
27	ムース応用 タルト応用	クルールドペシュ タルトシトロン			
28	デコレーションケーキ応用	イチゴのムース 洋梨ショート			

29	クッキー応用	ガレット・ブルトンヌ ポルポロン エンガディナー・ヌストルテ
30	チョコレート応用	ボンボンショコラ フルーツ生チョコ
31	タルト応用 伝統菓子	フルーツタルト オペラ
32	チョコレート応用 メレンゲ応用	ボンボンショコラ アマンドショコラ マカロン

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	実習・実技評価	80.0%	
	出席率	10.0%	
	授業態度	10.0%	
※最終的な成績は科目毎に評価される			

## シラバス

科目名 応用製菓実習 (和菓子・茶道)		学科/学年 製菓製パン本科/2年	年度/時期 2024/通年	授業形態 実習	教員の實務経験 有
授業時間 90分×4 (一部90分×2)	回数 13/69回	単位数(時間数) 16単位(480時間)	必須・選択 必須	担当教員 矢濱竜淑、西川直子 他	

## 授業の概要

## &lt;和菓子&gt;

1年次の技術をもとに応用の菓子・パンを作り更なる技術向上を目指す。  
すべての分野に幅広く対応できる職人となるように授業を行う。  
製菓3分野と軽食調理を行い、幅広いニーズに対応できる人材育成を行う。

## &lt;茶道&gt;

- ・日本の伝統文化を知る。茶道を通して礼儀作法を身に付け、思いやり感謝の心を養う。
- ・基本的なお茶のたて方、出し方、いただき方を知る。

## 授業終了時の到達目標

## &lt;和菓子&gt;

技術修得目標に沿って、卒業時に修得完了を目指す。

## &lt;茶道&gt;

茶道を体験し、茶道の心を知り、美しい所作を身に付ける。

回	テーマ	内容
1 (90分×2)	茶道① 包餡①	AM上用饅頭(上生仕上げ) PM抹茶の歴史 茶道の心 おじぎについて 抹茶を立てる
2 (90分×2)	・茶道の心、所作を知る ・お茶のたて方、出し方、いただき方の一連の流れを知る	・簡単なお茶の歴史 ・美しい所作、道具の扱い方を知る ・お茶のたて方、出し方、いただき方を繰り返し行う
3	粒餡 銅板 焼き菓子① 寒天①	きんとん 浮島 だら焼き 羊羹(扇)
4	細工①	練り切り こなし 外郎生地
5 (90分×2)	茶道② 細工②	AM羽二重(朝顔)、わらび餅(包餡) PM箸のとり方 道具の扱い方 抹茶を頂く流れ
6 (90分×2)	・茶道の心、所作を知る ・お茶のたて方、出し方、いただき方の一連の流れを知る	・お茶の心 ・美しい所作、道具の扱い方 ・お茶のたて方、出し方、いただき方を繰り返し行う
7	工芸細工	工芸菓子(寿司・グラタン) みたらし団子
8	干菓子	落雁 きざと すはま 艶干錦玉 ねきあんでの松露糖・暁烏(デモのみ)
9	和洋折衷	和洋折衷(コーヒー大福、ブッセ、上用饅頭(柚子餡))
10	焼き菓子② 包餡②	さつまいも かぼちゃのホイル焼き 柿ほろり
11	包餡③ 寒天② 細工③	練り切り 上用饅頭 羽二重餅 錦玉羹(上生)
12	餡細工(和菓子)	餡細工(鶴)
13	創作和菓子	軽羹 羊羹 練り切り

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	実習・実技評価	80.0%	
	出席率	10.0%	
	授業態度	10.0%	
※最終的な成績は科目毎に評価される			

## シラバス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	教員の実務経験
カフェ・デザイン実習 (マジパン・シュガーアート・ カラーコーディネート)		製菓製パン本科/2年	2024/通年	実習	有
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員	
90分×4 (一部90×2)	11/23回	3単位(90時間)	必須	中村洋一、佐藤廣乃、星野正純	
授業の概要					
<p>&lt;マジパン&gt; マジパンの基本を習得し、製品を作る</p> <p>&lt;シュガーアート&gt; シュガーペーストの基本的な3種(日新シュガーペースト、フラワーペースト、カバーペースト)とアイシングを用いて、バラと小作品を製作する</p> <p>&lt;カラーコーディネート&gt; 色彩の基礎を学び、配色に生かす</p>					
授業終了時の到達目標					
<p>&lt;マジパン&gt; 丸め方・伸ばし方・色付け基本的な事をマスターする 動物・人形等を完成し学校祭に向け作品を完成させる</p> <p>&lt;シュガーアート&gt; シュガークラフトの基礎的知識と技術の習得</p> <p>&lt;カラーコーディネート&gt; デッサンで形を作ることを体感し、色彩の基礎を習得することにより、オリジナル製菓商品を作る際に有効となるよう、プライスカードやチラシなどのPOPデザイン、店舗ポスターを体験することにより視覚的にアピールする力を養う。</p>					
回	テーマ	内容			
1	カラー①	ガイダンス デッサン 色の分類 混色 色の感じ方	ガイダンス：授業の進め方 実習：デッサン(想像デッサン) 色の分類：無彩色と有彩色、モノトーン、色の三属性 色の感じ方：寒色系と暖色系、軽い色と重い色、固い色と柔らかい色、興奮色と沈静色、進出色と後退色、膨張色と収縮色 混色：光の三原色(加法)、色の三原色(減法)、中間混色 実習：文字の拡大縮小		
2	カラー②	デッサン・色のイメージ 形的美しさ・同化 POP文字の習得	実習：デッサン(クロッキーと自分の手) 色のイメージ：色型人間と形型人間、配色と安定性、色と味覚 形的美しさ：紙のサイズ、黄金比、白銀比、錯視 同化：セパレーション効果、面積効果、リーブマン効果、色陰現象 実習：POP文字の習得		
3	カラー③	パース ポスター制作	店舗1点透視図(平行透視図) 実習：ポスター制作		
4	マジパン①	マジパンの基礎を学ぶ	犬・ライオン		
5	マジパン② (90分×2)	マジパンの基礎を学ぶ	人形(女の子)・バラ		
6	マジパン③	学校祭に向けての作品	人形の作成 土台作り・人形、各パーツ作り		
7	マジパン④	学校祭に向けての作品	人形、各パーツ作り 作品を完成させる		
8	シュガー①	シュガーペースト3種製作 モデリング、カバーリング	①日新シュガーペースト②カバーペースト③フラワーペースト製作 クマ、ベビーシューズ、ダミーケーキのカバーリング		
9	シュガー②	ケーキデコレーション アイシングワーク	ギャレットフリル、リボン、プレート ケーキの飾り、絞り、レタリング		
10	シュガー③	シュガーフラワー(バラ) テストの練習	バラの花、葉っぱ、ガク 葉っぱの組立て、ブーケ製作		
11	シュガー④	ケーキの仕上げ	作品を完成させる		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他	
		実習・実技評価 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%		

## シラバス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	教員の実務経験
カフェ・デザイン実習 (ラテアート・ヴァンドゥーズ・紅茶・珈琲)		製菓製パン本科/2年	2024/通年	実習	有
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員	
90分×4	12/23回	3単位(90時間)	必須	浜地徹、圖師聡、平松利恵、山田孝子、井上佐	
授業の概要					
<p>&lt;ラテアート&gt; バリスタスキルを学ぶ(エスプレッソ抽出の基本動作、ラテアート)</p> <p>&lt;ヴァンドゥーズ&gt; 店舗販売に向けての実践 洋菓子販売における基本を学び身をつける</p> <p>&lt;珈琲&gt; ハンドドリップ、サイフォン抽出を学ぶことによりコーヒーに対する技術・知識の向上と共にスライドおよびVTRにより 産地の自然環境、栽培、収穫、加工、流通などへの理解を深める。</p> <p>&lt;紅茶&gt; 産地別茶葉の特徴を活かした基本の抽出から、お茶とお菓子を取り合わせる楽しみ方の提案までを習得する</p>					
授業終了時の到達目標					
<p>&lt;ラテアート&gt; エスプレッソが抽出できる。ハートのラテアートができる。</p> <p>&lt;ヴァンドゥーズ&gt; 洋菓子店においてヴァンドゥーズの役割、重要性を学ぶ</p> <p>&lt;珈琲&gt; サイフォンでの抽出技術、ハンドドリップの抽出技術、コーヒーに対する知識を学ぶことにより社会人となつてからでも豊かな人間性、確かな技術により「珈琲のある豊かな生活をエンジョイ」出来る人材となる。</p> <p>&lt;紅茶&gt; 基本のホットティーとアイスティーをおいしく抽出することを身に付ける</p>					
回		テーマ	内容		
1	ヴァンドゥーズ①	店舗販売に向けて ヴァンドゥーズという仕事	店舗販売の注意点 お客様に喜んでいただき満足していただくサービスを考え、形にしていく ヴァンドゥーズとは、を学び、学生に役立つ、挨拶などを身につける為の実践		
2	ヴァンドゥーズ②	洋菓子販売の知識、技術を体験する	実際のガトーを使い、箱詰めなどを行う 洋菓子販売の実践を全員で行う		
3	ラテ①	エスプレッソマシンの使い方とエスプレッソの抽出 カフェラテの作り方とハートのラテアート	エスプレッソマシンとは?エスプレッソとは? エスプレッソの抽出の仕方とカフェラテの作り方(ミルクのスチームング)を学ぶ ラテアートの基礎を知る		
4	ラテ②	ハートのラテアート レイヤーハートのラテアート	ハートのラテアートの習得 レイヤーハート、リーフのラテアートの作り方を知る		
5	ラテ③	2連ハート、3連ハートのラテアート 試験に向けての練習	レイヤーハート、2連ハート、3連ハートの練習 試験に向けての練習		
6	紅茶①	製造法によるお茶の分類と産地別の特徴 お茶の主成分と味の香りの表現	・茶葉の種類(緑茶、紅茶、ウーロン茶)と製造方法 ・三大銘紅茶の個性と生産由来 ・収穫時期による風味の違い ・濁らないアイスティー抽出		
7	珈琲①	①ドリップ器具の理論、取扱いを学ぶと共に生産地の栽培～収穫の流れを知る ②サイフォンの理論、取扱いを学ぶと共に収穫した豆の加工の流れを知る	①ドリップ器具部品の名称、基本的な取扱い方法、コーヒーへの理解を深める ②サイフォン器具の部品の名称及び基本的な取り扱い方法、危険回避、珈琲への理解を深める。		
8	ラテ④	取り扱い方法 ラテアートの書き方	ケガのない取り扱い方法と基本的な入れ方		
9	ラテ⑤	ラテアート練習	反復練習		
10	ラテ⑥	ラテアート練習	反復練習		
11	紅茶②	紅茶水色の表現 基本抽出確認	・ホットティーの抽出適温とベストドロップ ・基本の抽出ジャンピング ・水質の違い比較 ・ミルクティー抽出		
12	珈琲②	①サイフォン抽出のロールプレーニングにより安定した抽出技術を身に付ける ②サイフォンで抽出した珈琲を使つてのアレンジ珈琲のコンクール	①時間内に抽出を行うことを目標に定め、協力的、自主性を踏まえ作業することにより、専門技術を深める。 ②各自持ち寄った素材を利用し、各グループごとにアレンジ珈琲を時間内に作成。プレゼンする。 (協力、工夫、想像、改善、意識)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他	
ヴァンドゥーズ ルールブック		実習・実技評価 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%		

## シラバス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	教員の実務経験
製菓マネジメント		製菓製パン本科/2年	2024/後期	講義	有
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員	
90分	15回	1単位(30時間)	必須	川口 洋輝	
飲食店・ケーキ又はパンの物販の開業までのスケジュールと必要なことを学習し、開業後の経営に関しての繁盛店になるにはどのようにするか、不振店になった場合の対処の仕方。					
授業終了時の到達目標					
開業までの知識習得と開業後の経営方法の習得、自らのショップコンセプトの作成。					
回	テーマ	内容			
1	開店までのスケジュール	開業までの必要な申請のスケジュールをいつすべきか、内容ごとに説明			
2	場所の選定・業種・業態の捉え方	店舗の立地の条件のメリット、デメリット 業種と業態の違いの説明			
3	諸官庁の手続き・開業資金に関して	各諸官庁への開業の際に必要な申請内容と申請方法、開業に必要な開業資金に関して			
4	フードビジネスに求められるホスピタリティ 損益分岐点に関して	店舗におけるフードビジネスに求められるホスピタリティとは何か 損益分岐点の算出方法			
5	新規開業時の販売促進	AIDMAモデルを利用した販売促進			
6	商品のABC分析	販売商品の売り上げのABC分析による商品の見直し方法			
7	コンセプトシートの作成	ショップコンセプトシートの作成の仕方を説明しコンセプトシートを完成させる			
8	復習	復習			
9	固定客を作る重要性	飲食店において固定客を作る重要性、再来店してもらうための方法			
10	不振店の原因を考える	不振店の問題分析表を利用し、どのように対処するかの方法			
11	競合店のチェックシートの作成	店舗の立地の条件のメリット、デメリット 業種と業態の違いの説明			
12	個人のショップコンセプトの作成	ショップコンセプトの作成を行い、自分自身の店舗を作る			
13	グループによるショップコンセプトの作成	グループディスカッションを行い、グループとして店舗を作る			
14	グループによるショップコンセプトの作成	グループディスカッションを行い、グループとして店舗を作る			
15	店舗の内外装のプチ改装	短所改善法・長所改善法による店舗改装の仕方			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他	
講師作成による教材		期末テスト 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%		

## シラバス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	教員の実務経験
製菓衛生師養成学		製菓製パン本科/2年	2024/前期	講義	有
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員	
90分	15回	1単位(30時間)	必須	原田 千奈美	
授業の概要					
各教科ごとの出題傾向に即した復習と、過去問による反復学習					
授業終了時の到達目標					
製菓衛生師試験に合格できる知識の習得					
回	テーマ	内容			
1	衛生法規	過去の問題傾向に即したまとめ復習プリントの実施			
2	製菓理論	過去の問題傾向に即したまとめ復習プリントの実施			
3	製菓理論テスト	教科別テストの実施と解説			
4	食品学	過去の問題傾向に即したまとめ復習プリントの実施			
5	食品衛生学	過去の問題傾向に即したまとめ復習プリントの実施			
6	公衆衛生学	過去の問題傾向に即したまとめ復習プリントの実施			
7	栄養学	過去の問題傾向に即したまとめ復習プリントの実施			
8	栄養学・食品学テスト	教科別テストの実施と解説			
9	過去問題(関西 H29)	過去問の実施と解説			
10	過去問題(関西 H30)	過去問の実施と解説			
11	過去問題(関西 R1)	過去問の実施と解説			
12	テスト返却	定期試験解答と解説			
13	過去問題(愛知 R3)	過去問の実施と解説			
14	過去問題(愛知 R4)	過去問の実施と解説			
15	愛知総復習	愛知に標準を合わせた復習			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他	
問題集		期末テスト 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%		

## シラバス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	教員の実務経験
フランス語		製菓製パン本科/2年	2024/通年	講義	有
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員	
90分	30回	2単位(60時間)	必須	ランジェバン ミシェリヌ シ モヌマリ テレズ	
授業の概要					
製菓分野で使用されるフランス語を理解し、簡単なコミュニケーションをとれるような授業構成を基本とする					
授業終了時の到達目標					
洋菓子、製パン分野にて使用されるフランス語を理解し、活用できるようになる。また、フランス語で簡単な挨拶や買い物ができるようになる					
回	テーマ	内容			
1	Presentation France Leçon 0 / Alphabet	Livre Corte Monde + France			
2	Leçon 0 Salutations / Chiffres	Livre p.10 Booklet			
3	Leçon 0 Salutations	Livre p.11 Booklet			
4	Leçon 1 Gâteau-Tarte m/f	Livre p.14			
5	Leçon 1 Fruits m/f	Booklet p.3			
6	Leçon 1 Plural Fruite	Livre p.16~17 Booklet			
7	Leçon 1 ~de Fruits	Livre p.18~19 Booklet			
8	Leçon 1 Vocabulaire	Livre p.20~21 Booklet			
9	Leçon 2 au/àla/al/aux - Verbes	Livre p.22~23 Booklet			
10	Leçon 2 au/àla/al'/aux - Crèmerie	Livre p.24 Booklet			
11	Leçon 2 au/àla/al'/aux - Verbes	Livre p.26~27 Booklet			
12	Leçon 2 au/àla/a/l'/aux - ex + Verbes	Livre p.28~29 Booklet			
13	Test Rénsion	Print / Livre /Booklet			
14	Test Correction	Print Test			
15	Conversation France	Booklet			
16	Leçon 3 au/àla/àl'/aux converisation Boulangeu	Livre p.30 Booklet			
17	Leçon 3 Exercices verbes / Boulangeu	Livre Booklet			
18	Leçon 4 ~de / Epices / condiments / Pâ hsserie	Livre p.33~34 Booklet			

19	Leçon 4 ~de au/àla/àl' Verbes Conversation	Livre p. 34~35 Booklet
20	Leçon 4 Exercices Verbes / Fromages	Livre p. 38~39 Booklet
21	Leçon 5 Verbes / Boissons	Livre p. 40~43 Booklet
22	Leçon 5 Exercices Matériel - Verbes	Livre p. 44 Booklet
23	Leçon 5 -exercices Matériel/verbes	Livre p. 34~39 Booklet
24	Leçon5-P48~49 -exercices verbes/matériel	Livre p. 34~40 Booklet
25	Conversation-eui café Leçon6-e, ee p52~53	Livre p. 34~41 Booklet
26	Leçon6-P54~56 -exercices verbes/matériel	Livre p. 34~42 Booklet
27	Leçon7-P64~65 conversation	Livre p. 34~43 Booklet
28	Test Révision	Livre p. 34~44 Booklet
29	Test Révision	Livre p. 34~45 Booklet
30	Test Correction	Print Test

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
現場からの製菓フランス語	期末テスト	80.0%	
	出席率	10.0%	
	授業態度	10.0%	

## シラバス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	教員の実務経験
総合学習		製菓製パン本科/2年	2024/前期	講義	有
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員	
90分	15回	1単位(30時間)	必須	原田千奈美、岡本晏季	
各科目の講義内や生活学習等、HRにて網羅できない学習の補完を目的に行う。					
授業終了時の到達目標					
今年度は製菓衛生試験の対策に大部分をあて行う。製菓衛生師養成学の補完と合格を目指す。					
回	テーマ	内容			
1	衛生法規テスト	衛生法規の過去問実施			
2	製菓理論テスト	製菓理論の過去問の実施			
3	食品衛生学テスト	食品衛生学の過去問の実施			
4	食品衛生学テスト	公衆衛生学の過去問の実施			
5	公衆衛生学テスト	食品衛生学の過去問の実施			
6	愛知 願書作成	申請用紙記入			
7	栄養学・食品学テスト	食品学の過去問の実施			
8	過去問模試	栄養学の過去問の実施			
9	過去問模試	関西R2			
10	過去問模試	関西R2			
11	過去問模試	関西R3			
12	過去問模試	関西R4			
13	過去問模試	愛知R3			
14	過去問模試	愛知R4			
15	過去問模試	愛知R5			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他	
		小テスト 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%		

# シラバス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	教員の実務経験
校外研修実習		製菓製パン本科/2年	2024/前期	実習	有
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員	
90分×4	10回	2単位(60時間)	必須		
授業の概要					
インターンシップ科目として、現場の現地研修。主に製造分野の業務に携わる。					
授業終了時の到達目標					
現場経験を経ることにより今後の学習意欲を高め、就職活動にも生かすことができる。					
回	テーマ		内容		
	製造補助		主に菓子製造に携わる		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他	
特になし		実習・実技評価	100.0%	研修先監督者による評価	

## シラバス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	教員の実務経験
カフェ・デザイン実習 (ヴァンドゥーズ)		製菓製パン本科/2年	2024/前期	実習	有
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員	
90分×4	3/23回	3単位(90時間)	必須	平松利恵	
授業の概要					
店舗販売に向けての実践 洋菓子販売における基本を学び身を付ける					
授業終了時の到達目標					
洋菓子店においてヴァンドゥーズの役割、重要性を学ぶ					
回	テーマ	内容			
1	店舗販売に向けて ヴァンドゥーズという仕事	店舗販売の注意点、お客様に喜んでいただき満足していただくサービスを考え、形にしていく。 ヴァンドゥーズとはを学び、学生に役立つ、あいさつなどを身に付けるための実践。			
2	洋菓子販売の知識、技術を体験する	実際のガトーを使い箱詰めなどを行う 洋菓子販売の実践を全員で行う			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他	
ヴァンドゥーズ ルールブック		実習・実技評価 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%		

## シラバス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	教員の実務経験
カフェ・デザイン実習 (カラーコーディネート・デッサン)		製菓製パン本科/2年	2024/通年	実習	有
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員	
90分×4	8/23回	3単位(90時間)	必須	星野 正純	
授業の概要					
色彩の基礎を学び、配色に生かす					
授業終了時の到達目標					
デッサンで形を作ることを体感し、色彩の基礎を習得することにより、オリジナル製菓商品を作る際に有効となるよう、プライスカードやチラシなどのPOPデザイン、店舗ポスターを体験することにより視覚的にアピールする力を養う。					
回	テーマ	内容			
1	ガイダンス デッサン	ガイダンス：授業の進め方 実習：デッサン(想像デッサン)			
2	色の分類 色の感じ方 混色 文字の拡大縮小	色の分類：無彩色と有彩色、モノトーン、色の三属性 色の感じ方：寒色系と暖色系、軽い色と重い色、固い色と柔らかい色、興奮色と沈静色、進出色と後退色、膨張色と収縮色 混色：光の三原色(加法)、色の三原色(減法)、中間混色 実習：文字の拡大縮小			
3	デッサン	実習：デッサン(クロッキーと自分の手)			
4	色のイメージ 形の美しさ 同化 POP文字の習得	色のイメージ：色型人間と形型人間、配色と安定性、色と味覚 形の美しさ：紙のサイズ、黄金比、白銀比、錯視 同化：セパレーション効果、面積効果、リーブマン効果、色陰現象 実習：POP文字の習得			
5	色彩構成	実習：色彩構成(春夏秋冬)			
6	色の見え方 配色テクニック 色の持つイメージ 配色技法 流行色 環境と色彩 まとめ コピーライティング・POP制作	色の見え方：対比(明度対比、彩度対比、色相對比、補色対比) 配色テクニック：配色比率、ベース・メイン・アクセントカラー 色の持つイメージ：白、赤、灰、橙、黄、青、緑、紫、ピンク 配色技法：アクセント、コントラスト、グラデーション 流行色：流行色は作られる。 環境と色彩：見やすく、読みやすく、目立たせる。区別をつける。 心理的な影響を与える、情報を伝える。 まとめ 実習：コピーライティング・POP制作			
7	パース	店舗1点透視図(平行透視図)			
8	ポスター制作	実習：ポスター制作			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他	
プリント配布		実習・実技評価 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%		

2(2)

# シラバス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	教員の実務経験
カフェ・デザイン実習 (シュガーアート)		製菓製パン本科/2年	2024/後期	実習	有
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員	
90分×4	4/23回	3単位(90時間)	必須	佐藤 廣乃	
授業の概要					
シュガークラフトの基礎的知識と技術の習得					
授業終了時の到達目標					
シュガークラフトのバラ・ミニケーキの製作を通して、シュガークラフトの基礎的知識と技術を習得する					
回	テーマ	内容			
1	シュガーペースト3種製作 モデリング、カバーリング	①日新シュガーペースト②カバーペースト③フラワーペースト製作 クマ、ベビーシューズ、ダミーケーキのカバーリング			
2	ケーキデコレーション アイシングワーク	ギャレットフリル、リボン、プレート ケーキの飾り、絞り、レタリング			
3	シュガーフラワー(バラ) テストの練習	バラの花、葉っぱ、ガク 葉っぱの組立て、ブーケ製作			
4	ケーキの仕上げ				
教科書・教材		評価基準	評価率	その他	
		実習・実技評価 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%		

# シラバス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	教員の実務経験
カフェ・デザイン実習 (マジパン)		製菓製パン本科/2年	2024/通年	実習	有
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員	
90分×4 (一部90分×	4/23回	3単位(90時間)	必須	中村 洋一	
授業の概要					
マジパンの基本を習得し、製品を作る					
授業終了時の到達目標					
丸め方・伸ばし方・色付け基本的な事をマスターする 動物・人形等を完成し学校祭に向け作品を完成させる					
回	テーマ	内 容			
1	マジパンの基礎を学ぶ	犬・ライオン			
2	マジパンの基礎を学ぶ	人形(女の子)・バラ			
3	試験に向けた復習と練習	犬・ライオン・バラ			
4	試験	犬・ライオン・バラ・人形(男の子)			
5	学校祭に向けての作品	人形の作成 土台作り・人形、各パーツ作り			
6	学校祭に向けての作品	人形、各パーツ作り 作品を完成させる			
7	学校祭に向けての作品	人形、各パーツ作り 作品を完成させる			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他	
		実習・実技評価	80.0%		
		出席率	10.0%		
		授業態度	10.0%		

# シラバス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	教員の実務経験
カフェ・デザイン実習 (ラテアート)		製菓製パン本科/2年	2024/前期	実習	有
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員	
90分×4	3/23回	3単位(90時間)	必須	浜地徹	
授業の概要					
エスプレッソマシンを使用して、エスプレッソ、カフェラテ、ラテアートの提供を行う					
授業終了時の到達目標					
エスプレッソマシンの使い方、清掃の仕方が分かる エスプレッソの抽出ができる カフェラテをつくることできる ラテアート(ハート)がつくることできる					
回	テーマ	内容			
1	エスプレッソマシンの使い方とエスプレッソの抽出 カフェラテの作り方とハートのラテアート	エスプレッソマシンとは? エスプレッソとは? エスプレッソの抽出の仕方とカフェラテの作り方(ミルクのステーミング)を学ぶ ラテアートの基礎を知る			
2	ハートのラテアート レイヤーハートのラテアート	ハートのラテアートの習得 レイヤーハート、リーフのラテアートの作り方を知る			
3	2連ハート、3連ハートのラテアート 試験に向けての練習	レイヤーハート、2連ハート、3連ハートの練習 試験に向けての練習			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他	
		実習・実技評価 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%		

# シラバス

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	教員の実務経験
カフェ・デザイン実習 (ラテアート)	製菓製パン本科/2年	2024/通年	実習	有
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分×4	3/23回	3単位(90時間)	必須	圖師 聡
授業の概要				
ラテアート・エスプレッソマシンの取り扱い				
授業終了時の到達目標				
安全な取り扱いとハート				
回	テーマ	内容		
1	取り扱い方法 ラテアートの書き方	ケガのない取り扱い方法と基本的な入れ方		
2	ラテアート練習	反復練習		
3	ラテアート練習	反復練習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%	

3(2)

## シラバス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	教員の実務経験
カフェ・デザイン実習 (珈琲・紅茶)		製菓製パン本科/2年	2024/通年	実習	有
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員	
90分×4	/23回	3単位(90時間)	必須	井上佐、山田孝子	
授業の概要					
<p><b>珈琲</b>            ハンドドリップ、サイフォン抽出を学ぶことによりコーヒーに対する技術・知識の向上            VTRにより、産地の自然環境、栽培、収穫、加工、流通などへの理解を深める</p> <p><b>紅茶</b>            産地別茶葉の特徴を活かした基本の抽出から、お茶とお菓子を取り合わせる楽しみ方の提案までを習得する</p>					
授業終了時の到達目標					
<p><b>珈琲</b>            サイフォンでの抽出技術、ハンドドリップの抽出技術、コーヒーに対する知識を学ぶことにより社会人となってからでも豊かな人間性、確かな技術により「珈琲のある豊かな生活をエンジョイ」出来る人材となる。</p> <p><b>紅茶</b>            基本のホットティーとアイ스티ーをおいしく抽出することを身に付ける</p>					
回	テーマ	内容			
1	①ドリップ器具の理論、取扱いを学ぶと共に生産地の栽培～収穫の流れを知る ②サイフォンの理論、取扱いを学ぶ	①ドリップ器具部品の名称、基本的な取扱い方法、コーヒーへの理解を深める ②サイフォン器具の部品の名称及び基本的な取り扱い方法、危険回避、珈琲への理解を深める。			
2	①サイフォン抽出のロールプレイングにより安定した抽出技術を身に付ける ②サイフォンで抽出した珈琲を使つてのアレンジ珈琲のコンクール	①時間内に抽出を行うことを目標に定め、協力性、自主性を踏まえ作業することにより、専門技術を深める。 ②各自持ち寄つた素材を利用し、各グループごとにアレンジ珈琲を時間内に作成。プレゼンする。 (協力、工夫、想像、改善、意識)			
3					
4					
5					
6					
7					
8					
教科書・教材		評価基準	評価率	その他	
		実習・実技評価 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%		